

企画名：ネオニコフリー2021 with 生協ネットワーク 21

団体名：コープ自然派事業連合

## 1. 報告要旨

[生協ネットワーク 21](#) は理念や価値観の近い 10 生協・事業連合がともに商品政策や運動面での協働をすすめ、共通課題としてネオニコチノイド系(以下、ネオニコ系)農薬排除・有機農業推進に取り組んでいます。

想いを同じくする生協の広域ネットワークで、ネオニコ系農薬について知り、ネオニコフリーを選ぶ人を増やすことを最重点課題として、連携オンライン学習会を開催しました。

日本の有機栽培技術は非常に高く、ネオニコ系農薬排除の栽培技術も広がっています(コープ自然派の青果はネオニコ系農薬不使用 91.3%、削減中 6%)。みどりの食料システム戦略のネオニコ系農薬排除目標を前倒しで達成することを目指して、生産者を対象とした有機栽培技術講習やネオニコ系農薬学習会にも取り組みました。

ネオニコ系農薬は、無毒性量投与での哺乳類への影響や、ヒトの母子間移行も報告されています。その使用量は横ばいで、ネオニコチノイド類似の農薬とされる浸透移行性農薬の出荷が大きく伸びていることも問題です。体内汚染の実態を調べるとともに、農薬も含めた環境ホルモンから子どもたちを守る法規制をつくる取り組みに参加し、毒性試験の見直しを求めています。

### ■ネオニコビデオを見ようキャンペーン

昨年、同助成で作成したビデオ「[みんなで選ぼう！ネオニコフリー](#)」視聴キャンペーンを継続し、YouTube 視聴回数は 17 万回を超えました。

### ■ネオニコフリー・想いをつなぐ講演会

#### a) 生協ネットワーク 21 連携オンライン講演会

- \* 第1回「ネオニコ系農薬 子どもたちへの影響は？」2022 年 2 月 23 日  
講師: 平久美子さん(医師・ネオニコチノイド研究会代表) 参加: 349 名
- \* 第2回「ネオニコ系農薬 哺乳類の脳神経への影響と毒性評価」2022 年 3 月 23 日  
講師: 星信彦さん(神戸大学大学院農学研究科教授) 参加: 329 名
- \* 第3回「ネオニコフリーの栽培技術～みどり戦略の実現に向けて」2022 年 4 月 22 日  
講師: 小祝政明さん(日本有機農業普及協会代表) 参加: 259 名

#### b) 産地ネオニコフリー学習会・有機栽培技術講習会

- \* 熊本柑橘生産者ネオニコ系農薬学習会・有機栽培技術講習会 2021 年 7 月 19 日～20 日 参加: 32 名
- \* 有機農業栽培技術講習会 in 北海道(ネオニコ系農薬学習会含む) 2021 年 9 月 2 日 参加: 84 名
- \* 有機農業技術講習会 in 九州 2022 年 5 月 21 日 参加: 47 名

### ■啓発パンフレット

ネオニコ系農薬の無毒性量投与での哺乳類への影響や、ヒトの母子間移行、宍道湖調査などの最新研究内容も含めたパンフレットを作成しました。

その他、「環境安全基本法」制定に向けた国会請願署名や、ネオニコデトックスプロジェクト(ネオニコ系農薬体内残留検査/尿検査)にも取り組みました。

ネオニコ系農薬を排除する米生産者への支援事業として、[みどりの食料システム戦略プロジェクト in 小松島](#)を JA 東とくしまとの協同組合間協同で実施し、ネオニコフリーの田んぼが広がっています。

## 2. 成果物

1. [ネオニコフリーパンフレット](#)制作
2. 生協ネットワーク 21 連携オンライン学習会 第1回「[ネオニコ系農薬 子どもたちへの影響は？](#)」参加 225 名 (2022.2.23)
3. 生協ネットワーク 21 連携オンライン学習会 第 2 回「[ネオニコ系農薬 哺乳類の脳神経への影響と毒性評価](#)」参加 329 名 (2022.3.23)
4. 生協ネットワーク 21 連携オンライン学習会 第 3 回「[ネオニコフリーの栽培技術～みどり戦略の実現に向けて](#)」参加 259 名 (2022.4.22)